

第6学年 国語科学習指導案

時間・場所 2校時 6年1組教室

学 級 6年1組 29名(男子17名, 女12名)

指 導 者 鈴木和子

- 1 単元名 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう
学習材名 『鳥獣戯画』を読む (光村図書 6年)

2 単元について

児童は、これまでに「笑うから楽しい」や「時計の時間と心の時間」などの学習材で、筆者の考えや主張を捉えることを学習してきた。また、文章に対して自分の意見をまとめるという言語活動も、多く経験してきた。時間内で、自分の考えを書くことができるようになってきているものの、筆者の考えの捉えが浅かったり、自分の考えを述べる際の事例が適切でなかったり、読み手に説得力をもたせるところまではいたっていない。自分の考えをもち、友達と交流する活動については、考えを発表し、共通点や相違点を比較することはできるが、友達の考えを受けてさらに深めたり、広げたりするところまでは難しく、個人差がみられる。

本学習材は、「漫画の祖」といわれる国宝絵巻物「鳥獣戯画」の絵の解説と解釈、評価が述べられている説明文である。絵と文章を対照しながら見方や考え方を効果的に読む読み方が身に付く学習材である。一枚の絵を切り離して提示し、解説することで、ものの見方を分かりやすく伝える工夫をしている。また、短い文や体言止めが多く用いられ、児童が興味をもって読み進められる文章となっている。絵を読み解いていく筆者のものの見方を学ぶことで、自分のものの見方を広げ、多様な見方をすることができる学習材である。

本単元では、絵と文章とを対照しながら読む活動を通して、筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えるとともに、絵を読み解いていく筆者のものの見方を学び、それに対する自分の考えをもたせる。第一次では、「鳥獣戯画」の絵を見て気付いたことを話し合い、絵の見方の違いのおもしろさを味わわせ、学習材への興味を十分に引き付けてから学習計画を立てる。第二次では、筆者が、「絵のどの部分を取り上げているか」「その中の何に注目しているか」「どのような表現上の工夫をしているか」などの観点を明確にし、絵と照らし合わせながら読み取りを進めていく。第三次では、これまでの学習を生かして、「蛙」の絵を自分なりに読み取らせ、友達と交流をさせる。友達と見方や考え方を比較することで、視野をいっそう広げることができるようにしたい。さまざまな見方があることを知り、次の「この絵、私はこう見る」につなげていきたい。

3 単元の目標

- 絵巻物に興味をもち、進んで読もうとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 絵と文章との関係を押さえて筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。 【読むこと ウ】
- 文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(オ)】

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとしている。	◎筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えている。	○文末表現や助詞の使い方を意識して読んでいる。

5 学習計画 (全6時間)

- 第一次 単元の学習計画について、学習計画を立て、課題意識と見通しをもつ。(1時間)
- 第二次 絵と文章とを対応させながら読み、筆者の構成や工夫を捉える。(3時間)
- 第三次 自分なりに絵を読み、友達の見方と比べる。(2時間) 本時 2/2

6 本時の展開 (6/6)

(1) ねらい 『鳥獣戯画』の絵を自分なりに読み取り、考えをまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導のための工夫 口評価<方法>
<p>㊦ 1 前時の学習内容を想起する。</p> <p>㊦ 2 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>・同じ絵でも、筆者の見方と自分達とでは、見方や感じ方が異なる。</p>	<p>U 学習の流れを想起できるように、これまでの流れを掲示しておく。(視覚化)</p> <p>・短時間で、前時の学習の確認ができるように数名の児童の振り返りを読む。</p>
<p>『鳥獣戯画』の蛙を自分なりに読み取り、考えをまとめよう。</p>		
<p>㊦ 3 本時の課題を解決する。</p> <p>・筆者の「作品の見方や捉え方」の書き方を参考に、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○応援蛙の絵を自分なりに読み取り、200字程度で考えをまとめること</p> <p>【書きまとめる手順】</p> <p>①どの部分を取り上げるか。(どの蛙か、蛙のどの部分か)</p> <p>②取り上げた蛙の、何に着目するか。(形、大きさ、色、格好、表情)</p> <p>③自分はどのような見方をしたか。</p>	<p>・前時に書いた気付いた事のメモを見ながら、ノートにまとめさせる。</p> <p>U 自分の考えをまとめやすいように、書き方の手順を示す。(焦点化)</p> <p>・必ず、絵の解釈と評価を入れることを確認する。</p> <p>・筆者の表現の工夫を参考に書きまとめるよう助言する。</p> <p>U 友達との共通点や相違点を見付けるために比較の観点を示す。(焦点化)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦ どの蛙の何に着目し、どのような見方をしたかを自分なりにノートにまとめている。</p> <p style="text-align: center;"><ノート・発言></p> </div>
<p>㊦ 4 書いたものを読み合い、友達と比べる。</p> <p>(1) 3人交流</p> <p>(2) 全体交流</p>	<p>○自分の考えを広げること</p> <p>【友達の考えとの比較の観点】</p> <p>①着眼点</p> <p>②見方</p> <p>③表現の工夫</p>	<p>・友達と自分の共通点や相違点を比較することで、「ものの見方」を広げたり、深めたりすることができるようにしたい。</p> <p>・友達の表現のよいところなどを感想として伝え合う。</p>
<p>5 学習をまとめる。</p>	<p>○着眼点と同じでも、人によって見方は異なること</p> <p>○見方が同じでも多様な表現方法があること</p>	<p>U 板書をもとに学習ポイントを整理し、本時の学習を位置付ける。(共有化)</p>
<p>㊦ 6 学習を振り返る。</p>	<p>○友達の考えから学んだこと</p>	